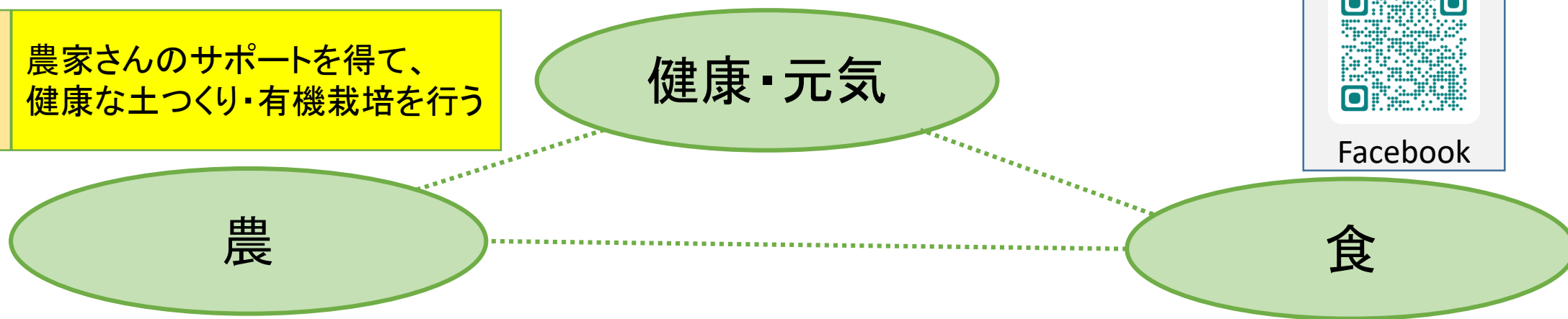


目的	私たちの農園は、えざね生産者グループの健康で安全な土づくり・野菜づくりを学び、安全でおいしい野菜づくりを通して、平和で住みよい地域づくりと「食」の安全安心・家族の健康をめざし協同して取り組む消費者のファームです
----	---

I.行動 指針	農家さんのサポートを得て、 健康な土づくり・有機栽培を行う
------------	----------------------------------



II.行動 指針	楽しく野菜を育てて、収穫を喜び、失敗も次の糧にする ファームで「非日常」を楽しみ、農作業で身体を動かし、気力・体力を養う
-------------	---

III.行動 指針	安全で美味しい野菜の「自給自足」をめざし、毎食美味しい野菜をしっかり食べる
--------------	---------------------------------------

〒441-1101
豊橋市賀茂町字恵実39-
連絡先:090-3952-6693
中嶋 芳夫



HP



Facebook

会員

1. 会員は、1単位(ロッチ) **3000円を前払い**し、所定の入会手続きを行う。
便宜上、「1ベジ=500円」「6ベジ=1ロッチ」の単位呼称を用いるものとする。
2. 会員は、会員相互の協力による**農作業や「農食・元気交流会」**などの活動に主体的に参加する。
3. 会員は、会員相互の協力により**収穫できた野菜を購入**し、会員相互に協力して「利用したい会員等」に届ける。
4. 会員は、可能な範囲で都合のつく日に週1日・月に1日のなど、**畑で「非日常」を体感する農作業に参加**する。

運営

1. 当ファームの運営・活動に参加する会員の協同運営・協同活動を行う。**運営は、総会一運営委員会を基本に行う。**
2. 「えざね生産者グループ」の一員となり、協同・連帯を強める。
3. 協同・連帯の輪を広げるため、**SNSを活用する。**ホームページ・フェイスブック・LINEなどの広報活動を重視し、組織的に取り組む。ホームページで、地域や生協組合員他へ広報活動を広げる。
4. **会員の声をもとに「年間栽培カレンダー」の充実。**月例「農食・元気交流会」は、「笑顔が溢れ・学びと・いきいき元気」になる。

財政

1. **財政の基本は、会員からの1ロッチの前払金。**当ファームへの賛同者(ビジター)と会員を増やしていく。
2. **収支の基本は、売上。**
 - ・月例の「農食・元気交流会」の参加者を20名を越えるように賛同者を同伴する。都合のつかない方へ、別の日に農体験ができるように受入体制を整えていく。
 - ・野菜が不足する場合は、安藤農園・えざね生産者グループの応援をいただき、安定確保を目指す。
 - ・畑に来られない会員には、会員相互の協力を得てお届けできることをめざす。***これまで「善意に甘え、おんぶにだっこ」状態から、収支の自立を目指し、光熱費・昼食材料費等のお支払いをする。**